

止まり木

人の話をしっかりと聴く
(耳と目と心で聴く)

最近、よく“傾聴力”(けいちょうりょく)という言葉を目にします。

傾聴力とは、ただ耳を傾げるだけでなく、**相手の話を深く理解し、共感する力**を指します。

具体的には、相手の話の背景や感情を読み取り、適切なリアクションを返す能力です。傾聴力は、単なる聞き手から積極的なコミュニケーションを通して相手と信頼関係を築いたり、問題解決にも役立つ能力のことなのです。どうですか?こういう風に聞くと何か思い当たることはありませんか。そう、まさに横堤中学校生徒10カ条にある「**人の話をしっかりと聴く(耳と目と心で聴く)**」がこのことなのです。これは中学生に必要な力だけでなく、大人(社会人)になってからも大切な能力です。校長先生は学生の頃は、友達としゃべっていて大切なことを聞き逃して失敗したり、恥ずかしい思いをしたことがありました。教師になって授業などで生徒の前で話すようになって、ようやく話を聞いてもらえない辛さを知り、人の話を聞かない恥ずかしさも知りました。だから、今は人の話を相手に心を傾けて聞くように心がけています。

では、傾聴力を授業に活かすためにはどうしたら良いか。授業中でも聞く力を鍛えることは可能です。以下の方法を実践することで、授業中に聞く力を最大限に活用しましょう。

①ノートに疑問を残す

先生の話をよく聞くのはもちろん、話の中で出てきた疑問点や重要なポイント、うまく理解できなかったところをノートに書き留めることが重要です。

②質問する力を伸ばす

積極的に先生や友人にしましょう。質問することで、自分で調べるよりもより効率的に理解力を深めることができます。

③相手に対する理解力が生まれる

これは授業中に限ったことではないですが、傾聴力を高めることで、相手に対する理解力が生まれます。**相手を尊重する人は、相手からも大切に思われます。**このような、人に対して理解力があり、優しく接することができる力は大人になっても重宝される大切な能力でもあります。こんな力をみんなも大事にしてみませんか。

